

参天製薬株式会社 決算説明会

2015年度 連結業績概要 2016年度 連結業績予想



2016年5月12日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明

参天製薬の基本理念

天機に参与する

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、それによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、社会への寄与を行う。

長期的な経営ビジョンと 2014-2017年度中期経営計画

長期的な経営ビジョン

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現

- 真の顧客ニーズ*を深く考え
- 競合企業に対する明確な強みをもって
- グローバルな競争力・存在感を持つ会社

*真の顧客ニーズ： 患者さん・生活者・医師・医療従事者のアンメットニーズ

長期的成長の目標



前中計終了時点

国内の更なる基盤強化
アジア・欧州展開準備完了

グローバルTOP5
海外売上比率16%

中期的な目標

アジア・欧州の成長と収益化
米国・その他への展開準備

海外売上比率30%

2020年までに目指す姿

“世界で存在感のある
スペシャリティ・カンパニー”

グローバルTOP3以内
海外売上比率40-50%

2014-2017年度 中期経営計画 基本方針

製品創製

持続的な成長を可能とするための
製品創製への変革、生産性向上の実現
積極的な事業開発投資の継続

事業展開

アジア・欧州での事業成長および
新規市場参入によるプレゼンス向上

組織・人材

持続的な成長を実現するための
人材育成と組織構築、および
グローバル・マネジメント体制の強化

2015年度 第4四半期 連結業績概要

2015年度 決算概況

■ 売上・営業利益とも過去最高を達成

■ 国内事業は順調に推移

- アイリーア、アレジオン等の新製品が増収を牽引
- 国内医療用眼科薬市場シェア44.0%に増加（15年度）
- OTCはインバウンド需要と国内需要により大幅増収

■ 海外事業が引き続き好調

- アジア：中国が好調継続
- 欧州：メルク案件が順調に推移
Ikervisの販売国拡大

■ 2016年3月に緑内障治療剤DE-126を導入

■ 8月に抗リウマチ薬事業の分割承継手続き完了

2015年度 決算概況

(IFRSフルベース)

(単位：億円)	2014年度 実績	2015年度	
		実績	対前期増減率
売上収益	1,618	1,953	+20.7%
営業利益	354	802	+126.7%
税引前当期利益	359	795	+121.6%
当期利益	240	534	+122.1%
ROE	12.0%	22.6%	+10.6pt

(コアベース)

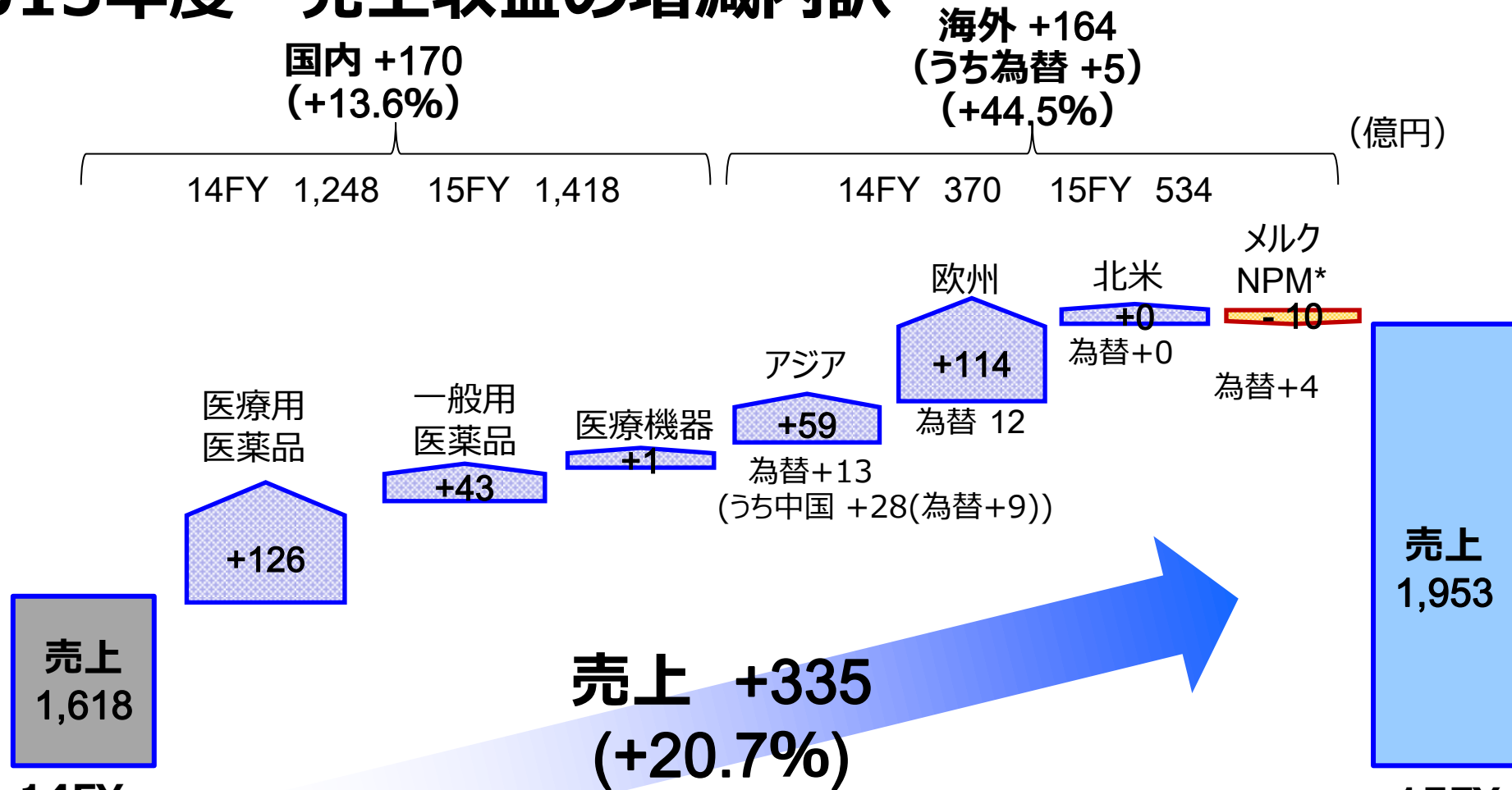
売上収益	1,618	1,953	+20.7%
営業利益*	391	431	+10.2%
当期利益	259	292	+12.4%
ROE	13.0%	12.4%	▲0.6pt

* コア営業利益 = 営業利益 + 製品に係る無形資産の償却費 - その他収益 + その他費用 (32ページ参照)

2015年度 連結純損益計算書の要約差異 (対前期比較)

(単位：億円)	2014年度 実績	2015年度		主な差異要因												
		実績	対前期 増減率													
売上収益	1,618	1,953	+20.7%													
売上原価 (対売上収益比率)	▲564 34.8%	▲728 37.3%	+29.2% +2.5pt	品目構成の変化 ・国内：+1.9pt ・海外：+0.3pt												
販売費及び一般管理費 (対売上収益比率)	▲489 30.2%	▲594 30.4%	+21.5% +0.2pt	・国内 ▲14億円 ・アジア ▲32億円 (為替▲4億円) ・欧米 ▲45億円 (為替+7億円)												
研究開発費 (対売上収益比率)	▲175 10.8%	▲200 10.2%	+14.4% ▲0.6pt	・国内▲5億円 ・海外▲19億円 (為替▲3億円)												
製品に係る無形資産償却費 (対売上収益比率)	▲40 2.5%	▲62 3.2%	+56.0% +0.7pt	・メルク無形資産償却費 ▲14億円 ・lkervis無形資産償却費 ▲6億円												
その他の収益	7	450	-	・抗リウマチ薬事業承継の影響 +443億円												
その他の費用	▲5	▲17	+267.0%													
営業利益 (対売上収益比率)	354 21.9%	802 41.1%	+126.7% +19.2pt													
金融収益	8	8	+1.8%	<table border="1"> <thead> <tr> <th><為替レート></th> <th>14FY実績</th> <th>15FY実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>US \$</td> <td>JPY 110.14</td> <td>JPY 120.45</td> </tr> <tr> <td>Euro</td> <td>JPY 139.01</td> <td>JPY 132.46</td> </tr> <tr> <td>中国元</td> <td>JPY 17.84</td> <td>JPY 19.05</td> </tr> </tbody> </table>	<為替レート>	14FY実績	15FY実績	US \$	JPY 110.14	JPY 120.45	Euro	JPY 139.01	JPY 132.46	中国元	JPY 17.84	JPY 19.05
<為替レート>	14FY実績	15FY実績														
US \$	JPY 110.14	JPY 120.45														
Euro	JPY 139.01	JPY 132.46														
中国元	JPY 17.84	JPY 19.05														
金融費用	▲3	▲15	+434.1%													
税引前当期利益	359	795	+121.6%													
法人所得税費用	▲118	▲261	+120.6%													
当期利益	240	534	+122.1%													
ROE	12.0%	22.6%	+10.6pt													
コア営業利益	391	431	+10.2%													
コア当期利益	259	292	+12.4%													
コアROE	13.0%	12.4%	▲0.6pt													

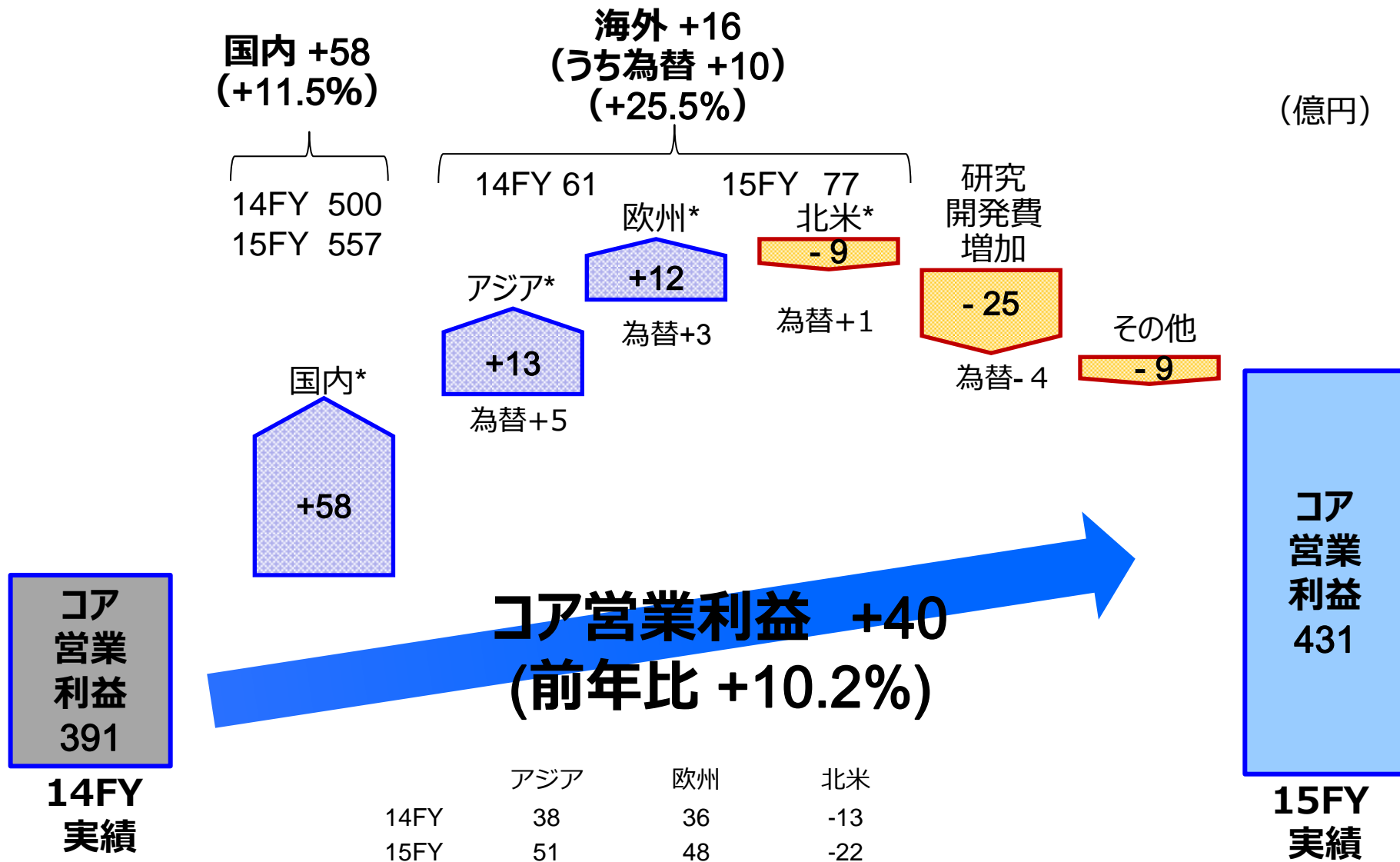
2015年度 売上収益の増減内訳



	医療用 医薬品	一般用 医薬品	医療機器	国内 その他	アジア	欧州	北米	メルク NPM*
14FY	1,157	66	23	2	167	142	10	52
15FY	1,283	109	23	3	226	256	11	42

*NPM (Net Profit Margin) : 販売承認の移管が未完の製品で、米メルク社に販売を委託しているものについての収入

2015年度 コア営業利益の増減内訳



*当社の管理会計基準に基づく利益（一部の販売費及び一般管理費・研究開発費控除前ベース）。
 メルク案件に伴うNPMは、関連する地域別事業に振替済み。

セグメント別売上

(単位：億円)	2015年度 実績					
	国内		海外		合計	
	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率
医薬品事業	1,392	+13.8%	534	+44.4%	1,926	+20.9%
医療用医薬品	1,283	+10.9%	533	+44.4%	1,816	+19.0%
眼科薬	1,242	+17.9%	484	+57.5%	1,725	+26.8%
抗リウマチ薬	35	▲63.5%	-	▲100.0%	35	▲63.7%
その他医薬品	6	▲18.7%	49	▲19.9%	55	▲19.8%
一般用医薬品	109	+64.5%	1	+28.8%	110	+64.1%
その他	27	+5.1%	1	+92.4%	27	+6.5%
医療機器	23	+2.4%	1	+62.7%	24	+3.5%
その他	3	+28.8%	0	-	3	+33.8%
合計	1,418	+13.6%	534	+44.5%	1,953	+20.7%

海外売上・営業利益

(単位：億円)	2014年度 実績	2015年度 実績		
	売上収益	売上収益	対前期 増減率	営業利益**
北米	62	53*	▲14.7%	▲22
欧州	142	256	+80.6%	48
アジア	167	226	+35.6%	51
中国	107	135	+26.5%	
合計	370	534	+44.5%	77

海外売上収益比率	22.9%	27.4%	+4.5pt	
-----------------	-------	-------	--------	--

* メルク案件に伴うNPMは、北米の売上として計上

** 当社の管理会計基準に基づく利益（一部の販管費・研究開発費控除前ベース）。メルク案件に伴うNPMを関連する地域別事業に振替済み。

メルク案件の進捗状況について

(単位：億円)	2015年度 実績		2016年度 予想	
	メルク案件	連結合計	メルク案件	連結合計
売上収益	216	1,953	193	2,040
NPM*	42	42	8	8
自社販売	174	1,911	185	2,032

～2016年3月

■ MA**移管完了国：28カ国

■ 今後のMA移管国：15カ国

- 内、すべての国においてプロモーション先行開始済み
- 内、MSDラベルにてディストリビューション開始済み：3カ国

*NPM (Net profit margin)：販売承認の移管が未完の製品で、メルク社に販売を委託しているものについての収入

**MA: Marketing authorization

2016年度 通期業績予想について

2016年度 業績予想

- **売上は4.5%増収、コア営業利益は6.8%増益を予想**
 - 営業利益（フルベース）は、2015年8月に承継した抗リウマチ薬事業の譲渡益（450億円）等の影響で▲51.7%を予想
- **国内事業は堅調に推移**
 - 新製品等の市場価値最大化やOTCの増収を予想
 - 一方、長期収載品は後発品促進策等の影響を想定
- **海外事業は引き続き順調**
 - アジア：成長市場での継続的な成長
 - 欧州：事業基盤の拡大による成長
- **販管費は、前期比0.2%増を予想**
 - 新規参入国などへの先行費用の一巡と費用の適正化を計画
- **コアROEは、12.0%を目指す**

2016年度 業績予想 概況

(フルベース)

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度	
		予想	対前期増減率
売上収益	1,953	2,040	+4.5%
営業利益	802	387	▲51.7%
税引前当期利益	795	390	▲50.9%
当期利益	534	269	▲49.6%
ROE	22.6%	10.0%	▲12.6pt

(コアベース)

売上収益	1,953	2,040	+4.5%
営業利益*	431	460	+6.8%
当期利益	292	318	+9.0%
ROE	12.4%	12.0%	▲0.3pt

* コア営業利益 = 営業利益 + 製品に係る無形資産の償却費 - その他収益 + その他費用 (32ページ参照)

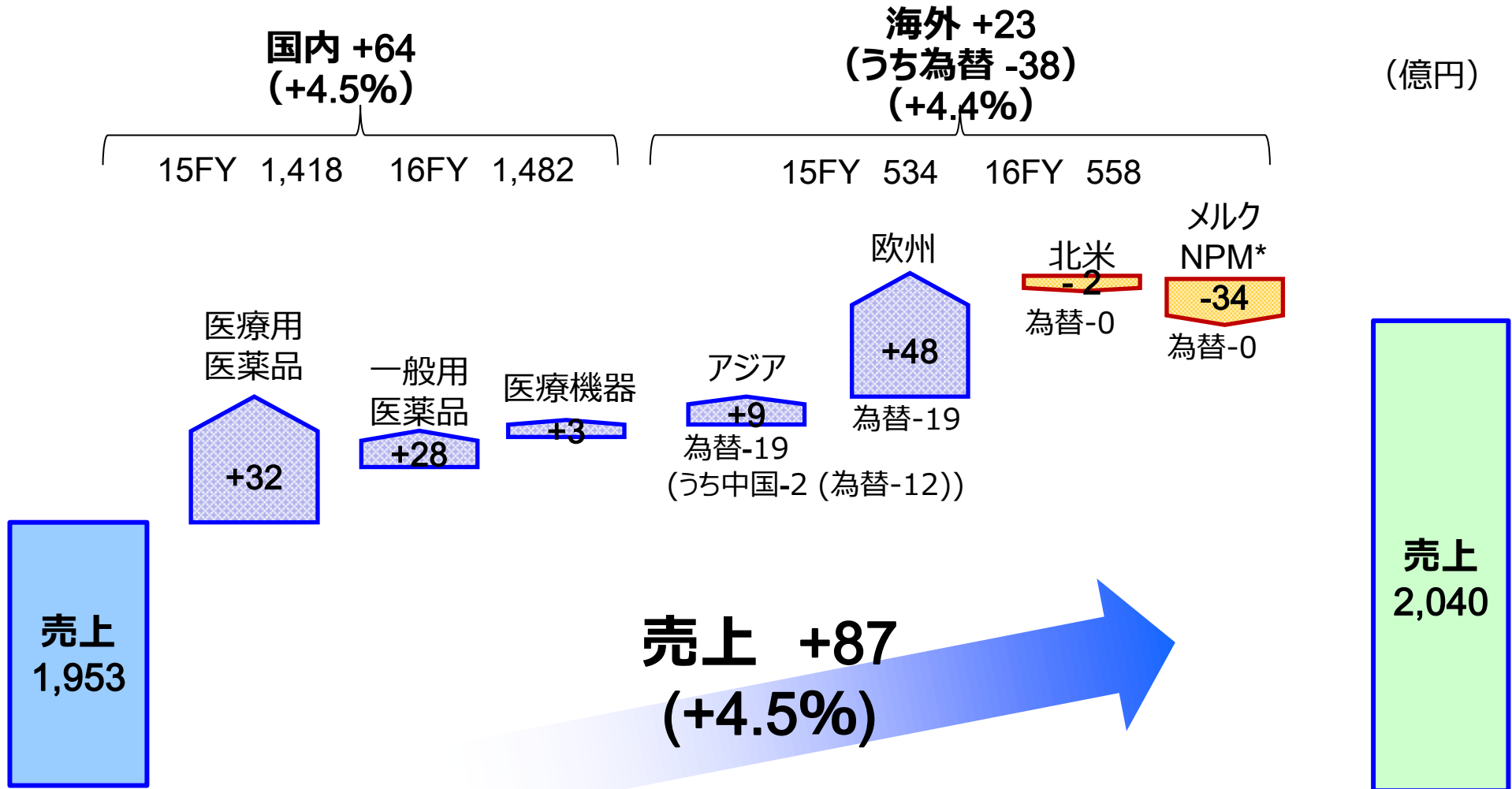
2016年度 業績予想 連結純損益計算書（対前期比較）

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度	
		予想	対前期 増減率
売上収益	1,953	2,040	+4.5%
売上原価	▲728	▲780	+7.1%
(対売上収益比率)	37.3%	38.2%	+0.9pt
販売費及び一般管理費	▲594	▲595	+0.2%
(対売上収益比率)	30.4%	29.2%	▲1.3pt
研究開発費	▲200	▲205	+2.6%
(対売上収益比率)	10.2%	10.0%	▲0.2pt
製品に係る無形資産償却費	▲62	▲71	+14.4%
(対売上収益比率)	3.2%	3.5%	+0.3pt
その他の収益	450	-	-
その他の費用	▲17	▲2	▲88.1%
営業利益*	802	387	▲51.7%
(対売上収益比率)	41.1%	19.0%	▲22.1pt
金融収益	8	4	▲48.8%
金融費用	▲15	▲1	▲93.3%
税引前当期利益	795	390	▲50.9%
法人所得税費用	▲261	▲121	▲53.6%
当期利益	534	269	▲49.6%
ROE	22.6%	10.0%	▲12.6pt
コア営業利益	431	460	+6.8%
コア当期利益	292	318	+9.0%
コアROE	12.4%	12.0%	▲0.3pt

*その他の収益、その他の費用を反映し、算出

<為替レート>	15FY実績	16FY予想
US \$	JPY 120.45	JPY 115.00
Euro	JPY 132.46	JPY 125.00
中国元	JPY 19.05	JPY 17.50

2016年度予想 売上収益の増減内訳

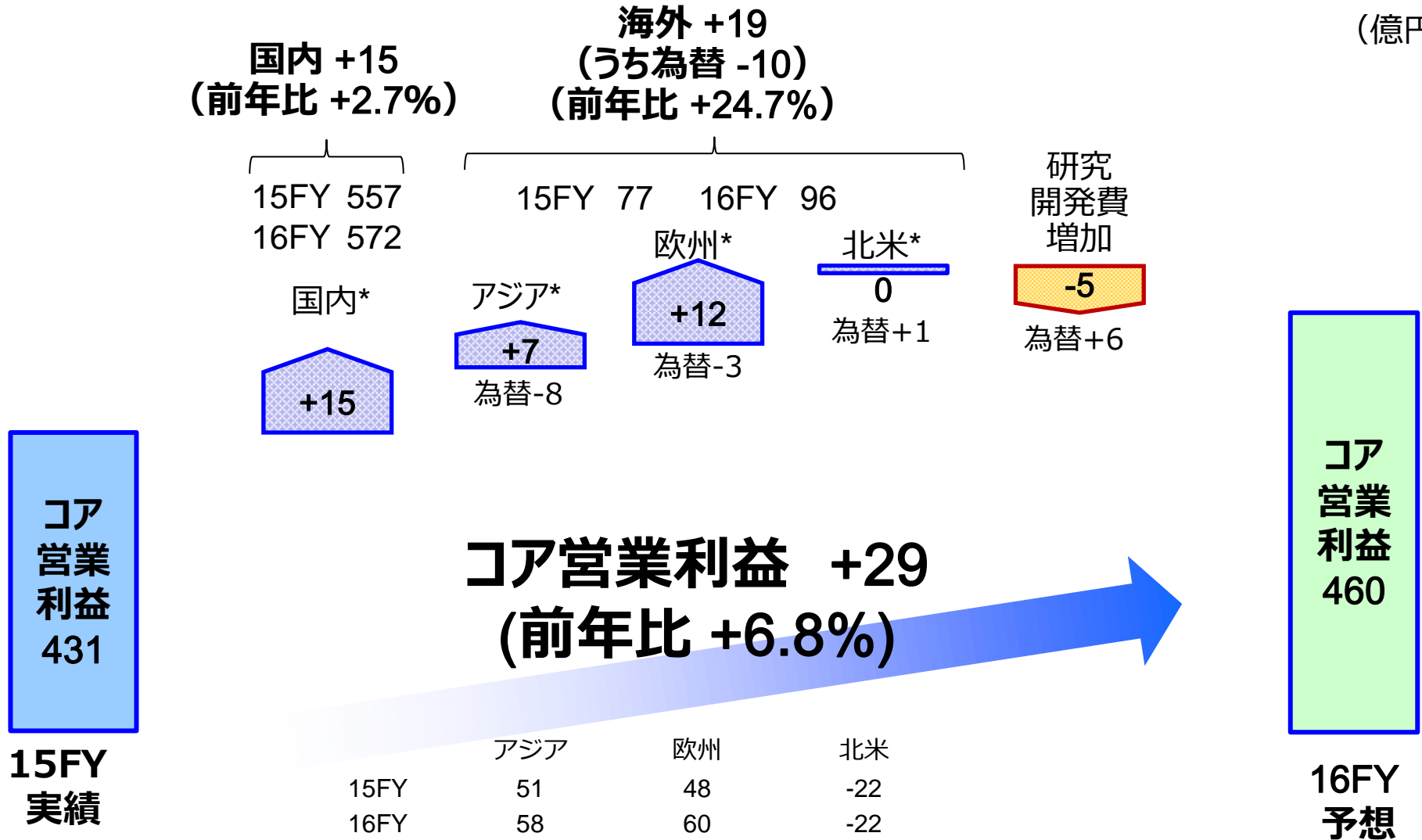


	医療用 医薬品	一般用 医薬品	医療機器	国内 その他	アジア	欧州	北米	メルク NPM*	海外 その他	
15FY 実績	1,283	109	23	3	226	256	11	42	0	1,953
16FY	1,315	138	26	4	235	304	9	8	2	2,040

*NPM (Net Profit Margin) : 販売承認の移管が未完の製品で、米メルク社に販売を委託しているものについての収入

2016年度予想 コア営業利益の増減内訳

(億円)



*研究開発費および販管費の一部については、グローバルに管理しているため、地域別に配分していません。メルク案件に伴うNPMは、関連する地域別事業に振替済み。

2016年度 配当予想について

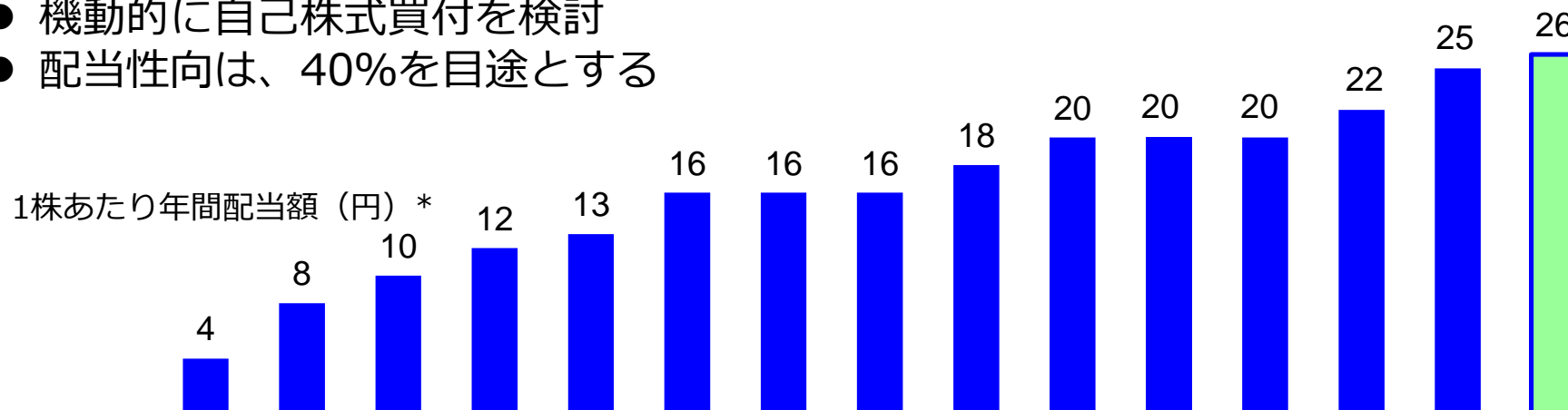
2015年度配当および2016年度配当予想

■ 年間配当

- 2015年度通期：25円
- 2016年度通期予想：26円

■ 2014－2017年度 株主還元基本方針

- 安定的、且つ、持続的な株主還元策を実施
- 研究開発、アライアンス等、将来成長のための資金を確保
- 機動的に自己株式買付を検討
- 配当性向は、40%を目途とする



(年度)	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016予
配当性向 (%) **	21	56	40	40	43	55	67	36	36	51	51	48	38	***19	40
自己株取得額 (億円)	32	0	26	0	0	48	0	0	0	0	137	0	0	0	-
総還元性向 (%) **	60	56	63	40	43	86	67	36	36	51	134	48	38	***19	-

*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割を実施。2014年度以前の配当額は、当該株式分割の株数を基に算出

**2013年度まではJ-GAAP、2014年度以降はIFRSを基準に算出

***2015年配当性向は、抗リウマチ薬事業の権利義務を承継する対価としての一時収入を除くと35%の見込み

参考資料

2015年度 連結業績概要

連結財政状態計算書

(単位：億円)	2015年3月末		2016年3月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
非流動資産	1,535	50.5%	1,607	45.2%	+71
流動資産	1,507	49.5%	1,947	54.8%	+441
現金及び現金同等物	659	21.7%	998	28.1%	+339
資産合計	3,042	100.0%	3,554	100.0%	+512
資本合計	2,118	69.6%	2,600	73.2%	+482
非流動負債	361	11.9%	222	6.2%	▲139
流動負債	563	18.5%	732	20.6%	+169
負債合計	924	30.4%	954	26.8%	+30
資本及び負債合計	3,042	100.0%	3,554	100.0%	+512

・発行済株式数：2015年3月末 413,266千株 → 2016年3月末414,192千株

【主要変動科目】

- 非流動資産 投資有価証券+91億円
- 流動資産 現金及び預金+339億円
- 資本 利益剰余金+431億円、その他評価差額金+67億円
- 非流動負債 長期借入金▲124億円
- 流動負債 未払法人所得税等+137億円

連結キャッシュ・フロー計算書 要約

(単位：億円)		2014年度 実績	2015年度 実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー		254	225	▲29
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲617	371	+988
財務活動によるキャッシュ・フロー		290	▲241	▲530
現金及び現金同等物の増減額		▲74	+355	+429
現金等期首残高		724	659	▲65
現金及び現金同等物の為替変動による影響		9	▲16	▲25
現金及び現金同等物の期末残高		659	998	+339

設備投資額/減価償却費

(単位：億円)	2014年度 実績	2015年度	
		実績	増減額
設備投資額	54	45	▲9
減価償却費 及び償却費*	30	31	+2
製品に係る 無形資産償却費**	40	62	+22

* 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除く

** 米メルク社の眼科製品の譲り受けに伴い取得した無形資産の償却費として
2014年度37億円、2015年度52億円を含む

参考資料

2016年度 通期業績予想

2016年度 セグメント別売上予想

(単位：億円)	2016年度 予想					
	国内		海外		合計	
	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率
医薬品事業	1,452	+4.3%	555	+4.0%	2,008	+4.3%
医療用医薬品	1,315	+2.5%	554	+4.0%	1,869	+2.9%
眼科薬	1,308	+5.4%	540	+11.7%	1,849	+7.1%
その他医薬品	6	+5.2%	14	▲71.5%	20	▲62.9%
一般用医薬品	138	+26.0%	1	+7.9%	138	+25.9%
その他	30	+12.1%	3	+223.6%	32	+18.6%
医療機器	26	+10.9%	1	+2.7%	26	+10.6%
その他	4	+21.2%	2	-	6	+74.4%
合計	1,482	+4.5%	558	+4.4%	2,040	+4.5%

2016年度 海外売上・営業利益予想

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度予想		
	売上収益	売上収益*	対前期 増減率	営業利益**
北米	53	17	▲67.6%	▲22
欧州	256	304	+18.9%	60
アジア	226	235	+4.2%	58
中国	135	133	▲1.5%	
合計	534	558	+4.4%	96
海外売上高比率	27.4%	27.3%	▲0.0pt	

* メルク案件に伴うNPMは、北米の売上として計上

** 当社の管理会計基準に基づく営業利益、
地域別事業の営業利益は、メルク案件に伴うNPMを関連する地域別事業に振替後のもの

2016年度 設備投資額/減価償却費予想

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度	
		予想	対前期 増減額
設備投資額	45	73	+29
減価償却費 及び償却費*	31	36	+5
製品に係る 無形資産償却費**	62	71	+9

* 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除く

** 米メルク社の眼科製品の譲り受けに伴い取得した無形資産の償却費として、2015年度実績に52億円、2016年度予想に53億円を含む

IFRSフルベースとコアベースの比較

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度 予想
IFRS 営業利益（フルベース）	802	387
ノンコアの控除対象項目	▲371	+73
製品に係る無形資産償却費	+62	+71
その他の収益	▲450	0
その他の費用	+17	+2
コア営業利益	431	460

IFRS コアベースの定義

IFRS	Core
売上収益	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費
研究開発費	研究開発費
製品に係る無形資産償却費	対象外
その他の収益	対象外
その他の費用	対象外
営業利益	コア営業利益
金融収益 (受取利息・配当、為替差益)	対象外
金融費用 (支払利息、為替差損)	対象外
税引前当期利益	コア税引前当期利益
法人所得税費用	法人所得税費用
当期利益	コア当期利益

コアベースでの業績指標について

- IFRSフルベースから一部の収益、費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す財務指標を採用
- IFRSフルベースによる業績から控除される項目：
製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用

参考資料

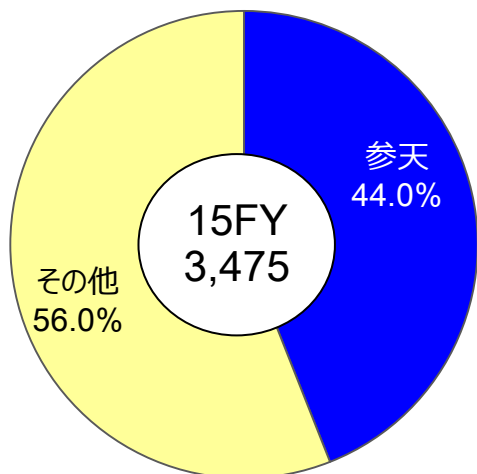
国内医療用眼科薬市場概況

市場概況

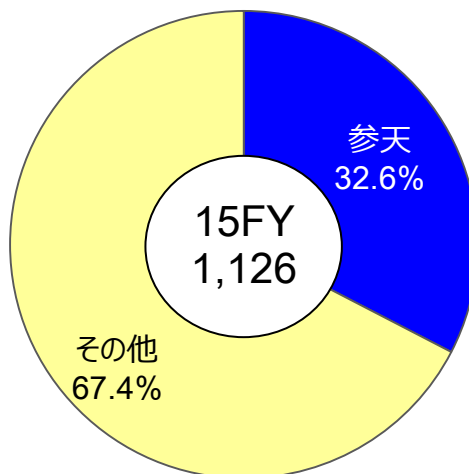
国内医療用眼科薬（眼科計・緑内障・角膜）

市場規模:億円
%: 金額ベース

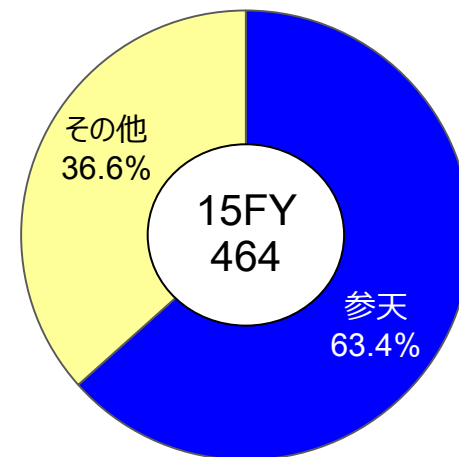
眼科薬計



緑内障・高眼圧症治療剤



角膜疾患治療剤



		14FY	15FY
(金額) 前年比	市場	+7.4%	+7.3%
	参天	+9.3%	+17.6%
参天シェア		40.1%	44.0%

		14FY	15FY
		+0.9%	+6.5%
		+6.1%	+8.4%
		32.1%	32.6%

		14FY	15FY
		-0.0%	+4.9%
		-7.0%	+1.4%
		65.6%	63.4%

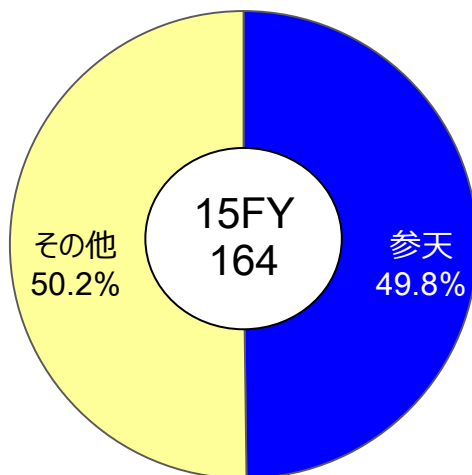
- 主な参天製品：
 - ・抗緑内障剤：タプロス、コソプト、チモプトール/XE、トルソプト、レスキュラ、デタントール、タブコム
 - ・角膜疾患治療剤：ヒアレイン、ジクアス

出典：©2016 IMS Health
IMS-JPM 2014-16を基に参天分析
無断転載禁止

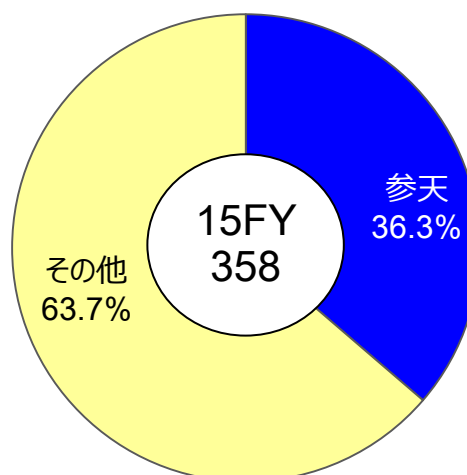
国内医療用眼科薬（抗菌・抗アレルギー・抗VEGF）

市場規模: 億円
%: 金額ベース

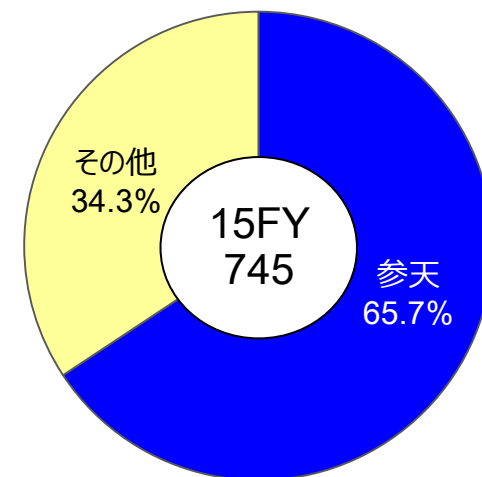
抗菌点眼剤



抗アレルギー剤



抗VEGF剤



		14FY	15FY
(金額) 前年比	市場	-8.2%	-2.5%
	参天	-15.3%	-10.1%
参天シェア		54.0%	49.8%

		14FY	15FY
市場		+21.4%	+5.7%
参天		+83.3%	+19.5%
参天シェア		32.0%	36.3%

		14FY	15FY
市場		+42.6%	+20.9%
参天		+43.0%	+62.7%
参天シェア		48.8%	65.7%

- 主な参天製品:
- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビド
 - ・抗アレルギー剤: アレジオン、リボスチン、アレギサル
 - ・抗VEGF剤: アイリーア

出典: ©2016 IMS Health
IMS-JPM 2014-16を基に参天分析
無断転載禁止

参天製薬株式会社

2015年度 第4四半期決算説明会

製品開発の現状



常務執行役員

チーフ・サイエンティフィック・オフィサー

研究開発本部長

ナヴィード・シャムズ

主要臨床プロジェクト状況一覧①

グローバル品

日本（アジア）品

疾患領域	プロジェクト名	化合物/ 作用機序	地域	開発ステージ					前四半期 からの変更点
				P1	P2	P3	申請	承認・ 発売	
緑内障・ 高眼圧症	DE-111	タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩 (配合剤)	欧州						
			韓国						
			アジア					★	承認
	DE-118	タフルプロスト UD	日本						
			アジア					★	発売
	DE-085	タフルプロスト	中国					★	発売
	DE-117	EP2受容体 作動薬	米国						
			日本						
DE-090	ロメリジン塩酸塩	日本							
DE-126	Sepetaprost	米国						導入	

主要臨床プロジェクト状況一覧②

グローバル品

日本（アジア）品

疾患領域	プロジェクト名	化合物/ 作用機序	地域	開発ステージ					前四半期 からの変更点
				P1	P2	P3	申請	承認・ 発売	
角結膜 疾患	Cyclokat/ Ikervis	シクロスポリン	欧州						
			米国						
			韓国						
			アジア						
	DE-089	ジクアホソル ナトリウム	中国						
			アジア						
網膜・ ぶどう膜 疾患	DE-109	シロリムス	欧州						取り下げ・再申請予定
			日本						
			米国						
			アジア						
	DE-120	VEGF/PDGF 阻害剤	米国						
	DE-122	抗エンドグリン 抗体	米国						
アレルギー	Vekacia	シクロスポリン	欧州			★			Phase3終了

主要臨床プロジェクトの現状

－ 緑内障・高眼圧症 －

■DE-085 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
中国	発売	承認	一般名： タフルプロスト

■DE-090 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
欧州	発売	発売	一般名： タフルプロスト／チモロールマレ イン酸塩（配合剤）
韓国	承認	承認	
アジア	承認（タイ）	承認申請中	

主要臨床プロジェクトの現状

－緑内障・高眼圧症－

■DE-117 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
米国	P2b終了	P2b終了	EP2受容体作動薬
日本	P2b/3	P2b/3	

■DE-118 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
アジア	発売 (シンガポール)	承認	一般名： タフルプロスト

■DE-126 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
米国	P2終了	-	一般名： Sepetaprost

主要臨床プロジェクトの現状

－角結膜疾患－

■DE-089 ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
アジア	承認	承認	一般名： ジクアホソルナトリウム

■Cyclokate/Ikervis (シクロカット/アイケルビス) ドライアイに伴う重度の角膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
欧州	発売	発売	一般名：シクロスポリン
米国	P2終了	P2終了	
韓国	申請	申請	
アジア	申請	申請	

■Vekacia (ベカシア) 春季カタル

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
欧州	P3終了	P3	一般名：シクロスポリン

主要臨床プロジェクトの現状

－網膜/ぶどう膜疾患－

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
米国	P3	P3	一般名：シロリムス
日本	P3	P3	
欧州	申請*	申請	
アジア	申請	申請	

■DE-120 滲出型加齢黄斑変性

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
米国	P2a	P2a	VEGF/PDGF阻害剤

■DE-122 滲出型加齢黄斑変性

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (2/2発表時)	
米国	P1/2	P1/2	抗エンドグリン抗体

*欧州医薬品庁への医薬品販売承認申請を一旦取り下げ、その後改めて申請する予定

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

The logo for Santen features a stylized 'S' on the left, composed of two overlapping curved shapes in light blue and dark blue. To the right of the 'S' is the word 'anten' in a bold, dark blue, sans-serif font. The 'a' is lowercase, while 'n', 't', 'e', and 'n' are uppercase.

Santen

A Clear Vision For Life